

NPO法人

えじそんくらぶ

2022年 2月

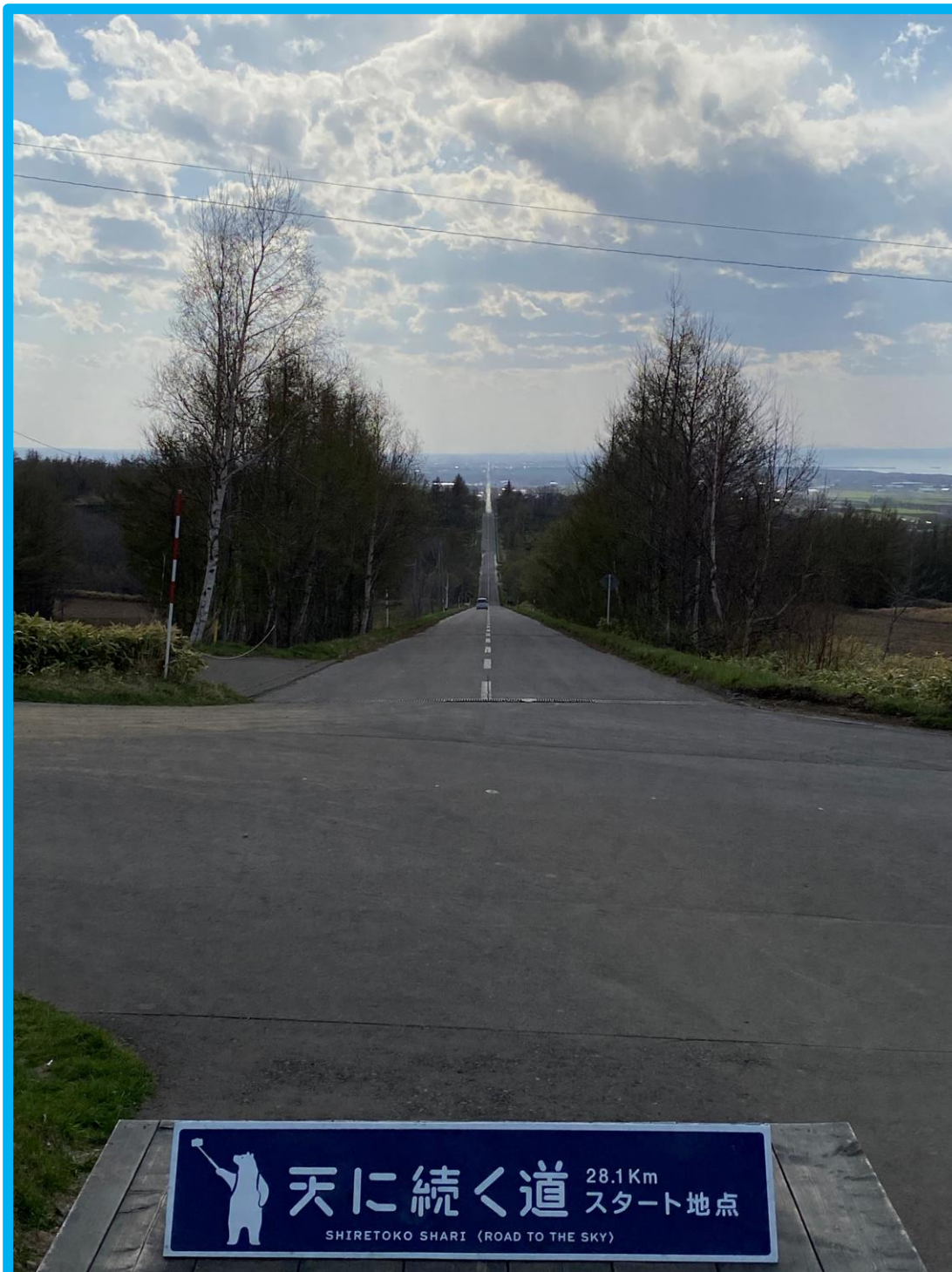
カラフルライフ

Vol.
112

季刊（年4回発行）発行NPO法人えじそんくらぶ 埼玉県入間市豊岡1-1-924 TEL/FAX 04-2907-7575 HP <https://www.e-club.jp/>

会員限定

個人的な内容が含まれるものがあるため、家族以外への回覧や会員外への公開はご遠慮ください



今回の表紙

■撮影者 市野孝雄

■北海道北見市在住

■カメラ

iPhone 11 pro

■タイトル

天に続く道の東端

■北海道らしい景色を紹介します。この直線の中に信号機は4カ所程で、片側1車線ながらも制約の少ない自由な走りを楽しめます。

表紙の絵や写真を募集しています。会員さんやご家族がお描きになった絵や撮影した写真など掲載希望がありましたら、事務局まで画像データ添付でメールでお送りください。

問い合わせ・送付先
info@e-club.jp

枠にはまらない特性とのつき合い方

NPO法人えじそんくらぶ代表 高山恵子

発達障害の特性があると、日本の教育の枠がとっても窮屈だと感じる方は多いでしょう。文部科学省でもやっと「個別最適化」というキーワードを打ち出して、その子の学び方、その子の今の実力に合った課題を出していくことの重要性を全国の学校に伝えています。

ところが現場では、この「個別最適化」は、なかなかの関門です。みんな同じ課題を同じ量やらなければいけないという価値観は、一体どこからスタートしたのでしょうか。

逆上がりや九九の宿題ができなくて居残りという経験があった方はいますか？ 我慢の訓練は確かに大切です。でも、あまりにもストレスフルな状態で、みんなと同じにさせようとするのは、本当に教育的に効果があるのでしょうか？

「過剰適応」という概念もあります。頑張っただけで周囲の期待に沿うように努力しすぎて、体調だけでなく、心にも傷がついてしまうのは、本当に残念な気がします。

私たちは今まで、みんなと同じことができない特性に対して、「普通という枠」に入るように努力させることにあまりにも重点を置きすぎてきたのではないのでしょうか？ やっと合理的配慮を本人が希望し、主治医などが必要を認め、さらに現場の支援者が必要と認めれば、宿題や授業での課題をみんなと同じでなくても良い環境を設定することが、やっと日本でも法律で認められました。あとは実行あるのみなのですが、「枠から外れることの不安」がある人もいますことでしょう。

また、最近は「浮こぼれ」という状態もNHKの番組で紹介される時代になりました。能力が高くて、クラスの「通常の枠」に入らない子どもたちが一定数います。ギフテッドと呼ばれる彼らは、一見ASDやADHDにとっても似た状態を示すことがあります。ただ、ギフテッドは診断名でなく、その問題行動は、その子の好奇心を良い形で刺激し、その子のレベルに合った課題を与えることで、急速になくなるといわれています。

ADHDと診断されて薬が効かない方の中には、もしかしたら単なるギフテッドという人も混ざっているかもしれません。WISCやWAISの心理検査では一応知的ギフテッドの基準が130以上と明記されていますが、文学系、美術系など特にクリエイティビティーの基準は、指導者の価値観により大きく左右され、能力が認められるかどうか、曖昧な部分がとても多いと思います。

現在、えじそんくらぶの夜間講座では、2E（2つの特別なニーズを持つ、具体的には発達障害と何らかの能力を持つ）の理解と支援の講座を提供しています。2EはTwice Exceptionalの略で、直訳すると「2重に規格外の」という意味です。つまり、普通という枠には入らない発達障害と高い能力を併せ持つグループなのです。

20年前にえじそんくらぶを設立したときには、ADHDという概念を知っている人はほとんどいませんでした。特別支援教育もなく、対象者の範囲も決まっていませんでした。ちょうど今、2Eがそのような状態です。日本にはまだ2Eの定義がないのです。2021年から文部科学省では有識者会議がスタートしました。

2E研究の第一人者である松村暢隆（まつむらのぶたか）先生が参加されている、文科省の「特異な才能のある児童生徒」の有識者会議では、今年、2E児の指導・支援の在り方の検討がなされるようです。

最新情報は2E教育フォーラム <https://2e-education.org/>でどうぞ。文部科学省の会議の内容も紹介されています。

1月下旬に約200人の臨床心理士に、5時間の研修会でこの2Eに関してお話をさせていただきましたが、「高山先生に日本の教育に一石を投じてほしい」とコメントくださった先生がいました。ですが、私一人が講演してもそんな力はもちろんありません。しかし、私はいろいろな分野から参加されている臨床心理士の先生方お一人お一人に、ケース会議などでその特性が見られたら一石を投じていただきたいとお願いしました。臨床心理士だけでなく、保護者も当事者も、もしかしたら2Eでは？という視点で見立てと支援を見直してみれば、概念は広まることでしょう。

できないところの訓練だけに焦点を当てず、2Eという別の枠組みからお子さんや支援をしている人たちの良いところを見つけ、伸ばすという支援をスタートさせませんか？

発達障害のある当事者や、パステルゾーンの方も含め、多くの方と良いところ探し、うまくいく条件探しの具体的方法について一緒に学びたいと思います。型にはまらないのではなく、はまりたくない人もウェルカムです。夜間講座のご参加、お待ちしております。

contents

- 02 巻頭エッセイ 高山代表
- 03 エンジョイ★ADHD あーささん
- 04 特別記事 高山恵子と田中先生のおはなし
- 06 ADHDの人が陥りやすいアディクション（依存症）②

- 07 会員さんの広場
- 08 発達障害最前線最終回 長谷川理事
- 09 エッセー「これでいい」最終回 土橋元理事
- 11 えじそんくらぶの会から
- 12 事務局より

【埼玉県子育てオンライン講座埼玉県公式限定公開セミナー「家族でハッピー：ストレスを減らす3つのヒント」】

埼玉県の委託事業としてえじそんくらぶが内容提供しているオンライン講演会が今年度も動画チャンネル(YouTube)にて配信(9月1日～10月15日)され、期間内に約1,000回のアクセスがありました。

子育てに悩んでいる方々やその支援者の方向けに、具体的な指示の出し方や支援の順序等がわかりやすいと参加者の満足度の高い講座が提供できました。当事者の講師(高山恵子)やえじそんくらぶ会員の親の立場からの話が大変に参考になったというコメントも多かったです。

【第1回ステップアップ講座(オンライン)『発達障害と愛着障害 ～複雑性PTSDの理解と支援』】

1月22日に児童精神科医の田中哲先生の講演と講義、高山代表との対談という内容で第1回のステップアップ講座をオンラインで行いました。田中先生は高山代表のADHDの診断をしたドクターで、発達障害の視点から愛着障害とPTSDについてわかりやすくお話いただき、具体的な対応法について時間いっぱいまで解説していただきました。対談内容は今回の、講義の概要は次回のNLで紹介します。

【第16期 オンライン夜間講座終了】

夜間講座第16期「成人ADHD等の理解と対応：失敗や挫折を生かし、QOLを高めましょう」が12月で終了しました。失敗を生かし、人生の質を高めるヒントを紹介し、当事者、支援者、保護者の方のご参加がありました。テキストは、『ありのままの自分で人生を変える～挫折を生かす心理学』(本の種出版 税込1650円)で、参加できなかった方もこの本で、人生の質を高めるヒントを見つけていただければと思います。

【「テラコヤプラス」にえじそんくらぶの記事掲載】

塾・予備校・家庭教師・オンライン塾など、日本全国の習い事教室を掲載している「テラコヤプラス」の取材で、えじそんくらぶ代表の高山のインタビュー記事が掲載されました。

お読みいただけますと幸いです。

■記事はこちら

発達障害の子どもたちを支援！NPO法人「えじそんくらぶ」が考案したADHD支援グッズとは
<https://terakoya.ameba.jp/a000001816/>

おしらせ

第17期オンライン夜間講座

2E：まだ発揮していない能力を引き出しQOLを高めましょう

第17期夜間講座、第1回・第2回が好評のうちに終わりました。第3回からもお見逃しなく。

自分はいろいろとできることもあるんだけど、なんかうまく力が発揮できない、指示通りにできない(指示通りにすると効率が悪い)、そんな悩みはありませんか？

発達障害と才能を持ち合わせた状態で、障害の部分だけがクローズアップされて才能が見つからないか、才能が開花できる環境を整えられずにそのままになっている場合もよくあります。「もしかしたらまだあなたがうまくいく条件を発見していないだけなのかもしれません」。合理的配慮、もしくはちょっとしたサポートをお願いするスキル(アドボカシースキル)習得も大切な要素になってきます。当事者の方はもちろん、自立を支援したい支援者の方にとっても参考になる内容です。

【第3回 隠れている才能の伸ばし方1】 3月9日(水)
 神経伝達物質の、タイプ別やる気スイッチの入れ方
 ストレスの三つのタイプと不安や怒りのメカニズムについて

【第4回 隠れている才能の伸ばし方2】 4月13日(水)
 認知機能のアンバランスにより能力が発揮できないときがあります。神経心理ピラミッドを活用して自分にとってベストな状態を探し出していきましょう。

【第5回 隠れている才能の伸ばし方3】 5月11日(水)
 親や支援者学校や職場との相性について考えより良い環境調整を自分でできることからやってみましょう。

【第6回 アドボカシースキル】 6月8日(水)

環境調整をお願いするための合理的配慮や配慮のお願いの仕方について、自分の取説を作りましょう。

共通スケジュール

講座：19:30～20:40

Q&A：20:45～ 21:00

※欠席時の講座内容の録画・録音での提供は行いません。

テキストとして、下記の書籍を使用します。

各自、事前にご購入下さい。

2E：得意なこと

苦手なことが極端な
 きみへ／発達障害・
 その才能の見つけ方、
 活かし方

高山恵子著 合同出版
 1,600 円＋税

お申込みはえじそんくらぶHPから

